



Cinergy

取扱説明書



はじめに

この度は Monitor Audio / Cinergy シリーズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本取扱説明書には、本機設置や操作について重要な情報が含まれています。

本説明書をお読みの上、設置や操作の詳細について充分にご理解いただき、正しくご使用の上、未永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

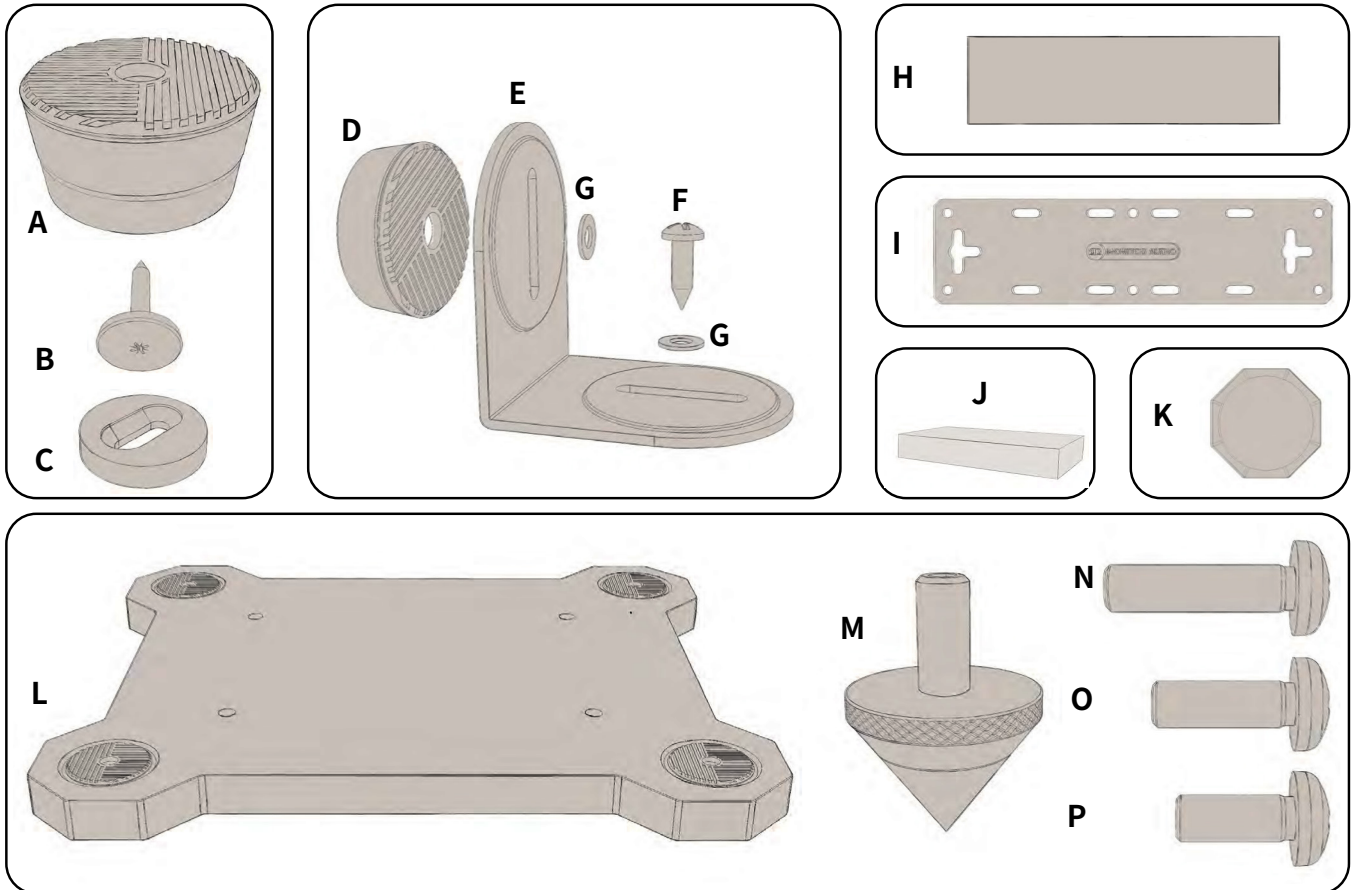
目次

はじめに	1
付属品	2
位置決め・計画	3
アンブ電力選択	3
フロントスピーカーの高さ	4
ミッド - ツイーターアレイの向き	4
ミッド - ツイーターアレイの位置	5
音響の最適化	6
アイソレーション	6
ポート栓・EQプロフィール	6
Cinergy Sub15 (サブウーハー)	8
設置	9
Cinergy 100・Cinergy 200	9
①In-wall設置	9
②On-wall設置	12
ヒント	13
Cinergy 300	13
①In-wall設置	13
②Floor Standing 設置	14
Cinergy Sub15	16
サウンドウォール	17
サードパーティアンブEQプロフィール	18
Specifications	19

付属品

箱から商品を取り出して、中身を確認してください。

欠品がありましたら、直ちにお買い上げいただいた販売店に連絡してください。



		Cinergy 100	Cinergy 200	Cinergy 300	Cinergy Sub15
A	アイソレーション・フット	2	2	4	4
B	大頭ネジ	2	2	-	-
C	ロケーター・バング	2	2	4	4
D	アイソレーター・ブラケット	2	2	2	2
E	L字ブラケット	2	2	2	2
F	No 12 (5.5 mm) x 19 mm ネジ	2	2	2	2
G	アイソレーション・ワッシャー	4	4	4	4
H	アイソレーション・パッド	2	2	4	4
I	フラットブラケット	2 (装着済)	4 (装着済)	1	-
J	ポート・スポンジ	2 (装着済)	1 (装着済)	1	-
K	マグネット・グリル	2	3	3	-
L	台座	-	-	1	-
M	スパイク・フット	-	-	4	-
N	本体 / 台座取り付けネジ (M10 x 40 mm)	-	-	4	-
O	アイソレーション・フット / 台座間のネジ (M10 x 30 mm)	-	-	4	-
P	アイソレーション・フット / 本体間のネジ (M10 x 25 mm)	-	-	4	4

他、各製品の取り付け可能方法に応じて、取付テンプレートが付属します (次ページ/3P - 位置決め・計画参照)

位置決め・計画

Cinergyシステムを設置する前に、設置場所/部屋を検討し、設計する必要があります。この早い段階からラウドスピーカーの設置場所を計画することで、設置が容易になり、より正確で魅力的なリスニング体験を実現できます。

このシステムは高い性能パフォーマンスを発揮するため、部屋の構造、使用材料、音響処理に配慮が必要な場合があります。これは通常、シネマールームの建設段階で行われますが、後付の防音材を使用することもできます。

部屋の音響特性を考慮する必要があります。硬くフラットな表面は不要な反射を引き起こし、室内での響きがライブになり過ぎたり、室内に反響効果をもたらすことがあります。減衰させすぎると、その逆が起こる可能性があります。減衰不足と減衰過多のバランスをとるには、室内測定器を使用することが理想です。

各製品には、可能な取付方法に応じて、以下の取付テンプレートが付属します。

取付テンプレート

■Cinergy 300

On-Floor / Cinergy 300 Plinth Drilling Template
In-wall / Cinergy 300 Locator Bung Template

■Cinergy 200

In-wall - Horizontal / Cinergy 200 Locator Bung Template
On-wall / Cinergy 200 Drilling Template

■Cinergy 100

In-wall - Horizontal / Cinergy 100 Locator Bung Template
In-wall - Vertical / Cinergy 100 Locator Bung Template
On-wall / Cinergy 100 Drilling Template

■Cinergy Sub15

In-wall / Cinergy Sub15 Locator Bung Template

アンプ電力選択

SPL要件を満たすためには、アンプの出力電力、**メインリスニングポジション (MLP)** の距離、SPLレベル、それぞれの関係を正しく計測する必要があります。参考に下記の3つのレベルをご紹介します。

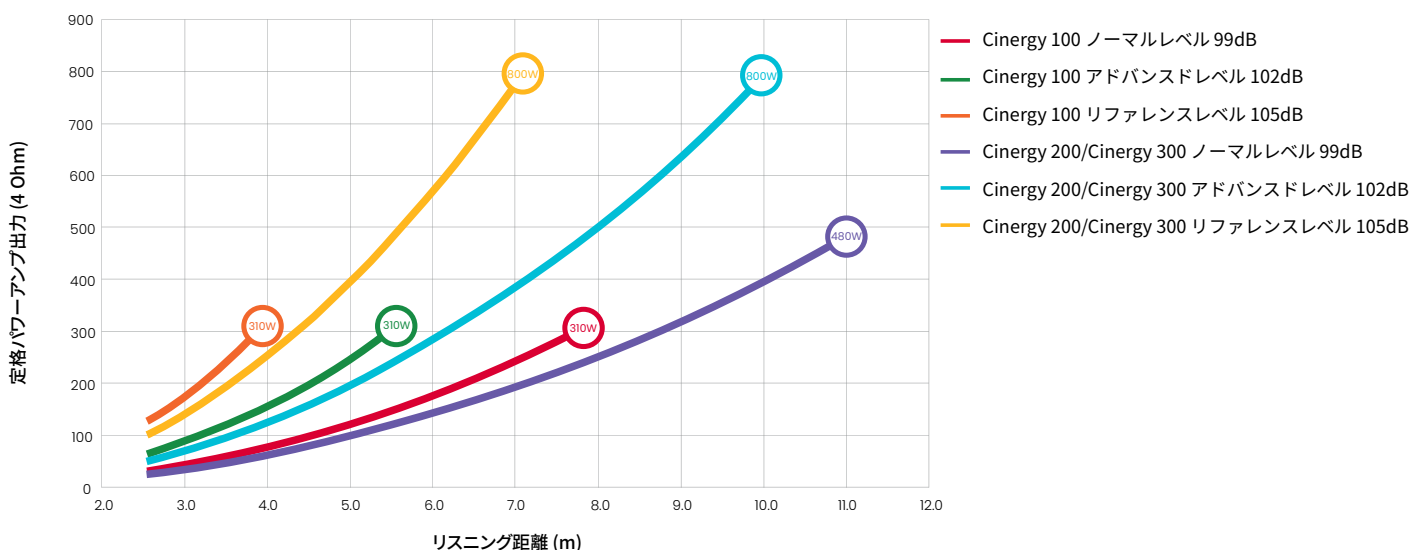
リファレンスレベル - 105 dB ピーク: THX Ultraのサウンド基準レベル。これは、その映画のサウンドで、ダイアログ、エフェクト、スコアなどをフルダイナミックレンジで提供することを意図しているのと同じレベルです。究極の映画体験を得るには、静かな囁きから大きな爆発まで、全てをこのレベルで体験する必要があります。

アドバンスドレベル - 102 dB ピーク: 基準レベルに極めて近い性能でありながら、ほぼ完全なダイナミックレンジを実現し、さらに圧倒的な没入感を味わうことができます。

ノーマルレベル - 99dB ピーク: 究極の基準レベルではありませんが、このレベルの性能は決して無視できないもので、十分な音量で臨場感あふれる体験ができます。

以下のグラフは、各スピーカーの希望のSPLレベルを達成するための推奨アンプ電力出力と、画面からのMLP距離の関係を示しています。

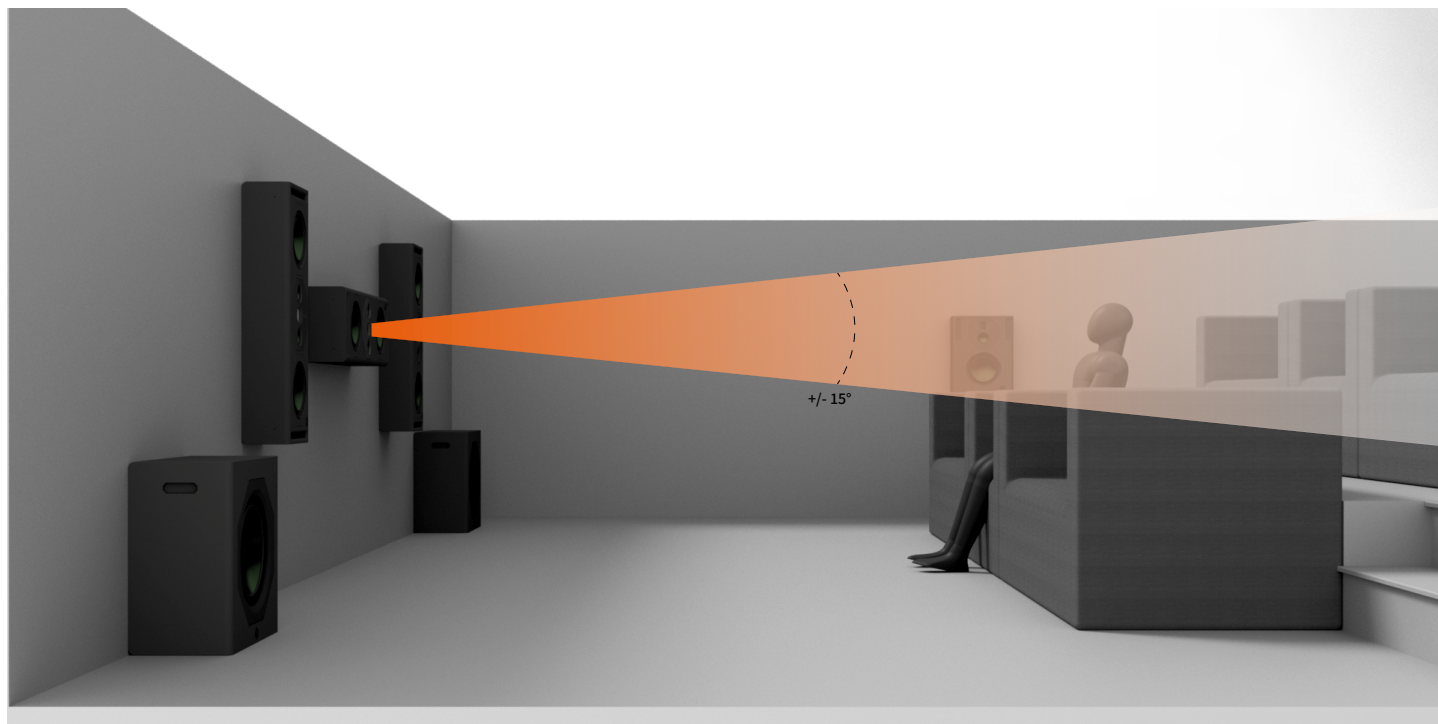
パワーアンプ要件



注意: Cinergy Sub15がTHX Ultraの規格に適合するためには、Cinergy Sub15用 カスタムインストール・パワーアンプを使用する必要があります (※2023年度発売予定)。

フロントスピーカーの高さ

フロントスピーカーのツイーターの高さは、MLPでの耳の高さより±15°以内にしてください（3基のフロントスピーカーすべて）。



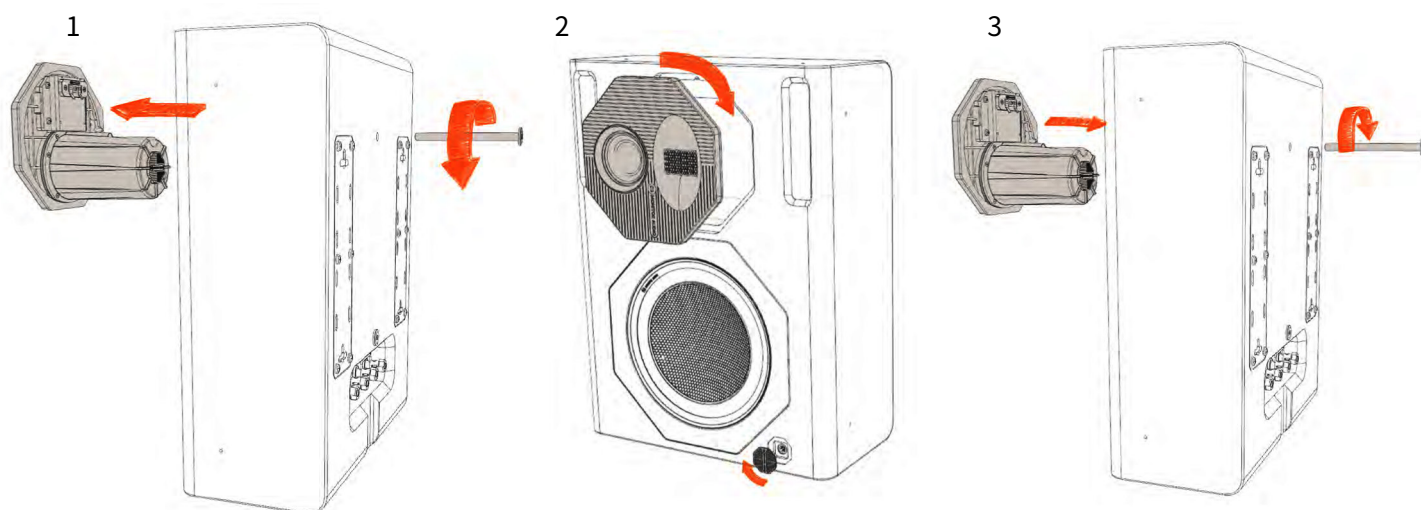
! 注意:センターチャンネルを水平に配置する場合、ミッド - ツイーターアレイを回転させる必要があります。

ミッド - ツイーターアレイの向き

Cinergyラウドスピーカーは、ミッド - ツイーターアレイを90°回転させて、水平に設置することができます。

これを行うには、ミッド/ツイーターアレイの真後ろのボルトを緩め、90°回転させます。Cinergy 100アレイは時計回りにしか回転できませんが、Cinergy 200/300はどちらの方向にも回転できます。回転させた後に、ボルトを締めなおしてください

! 注意: この作業は必ず設置前に実行してください。

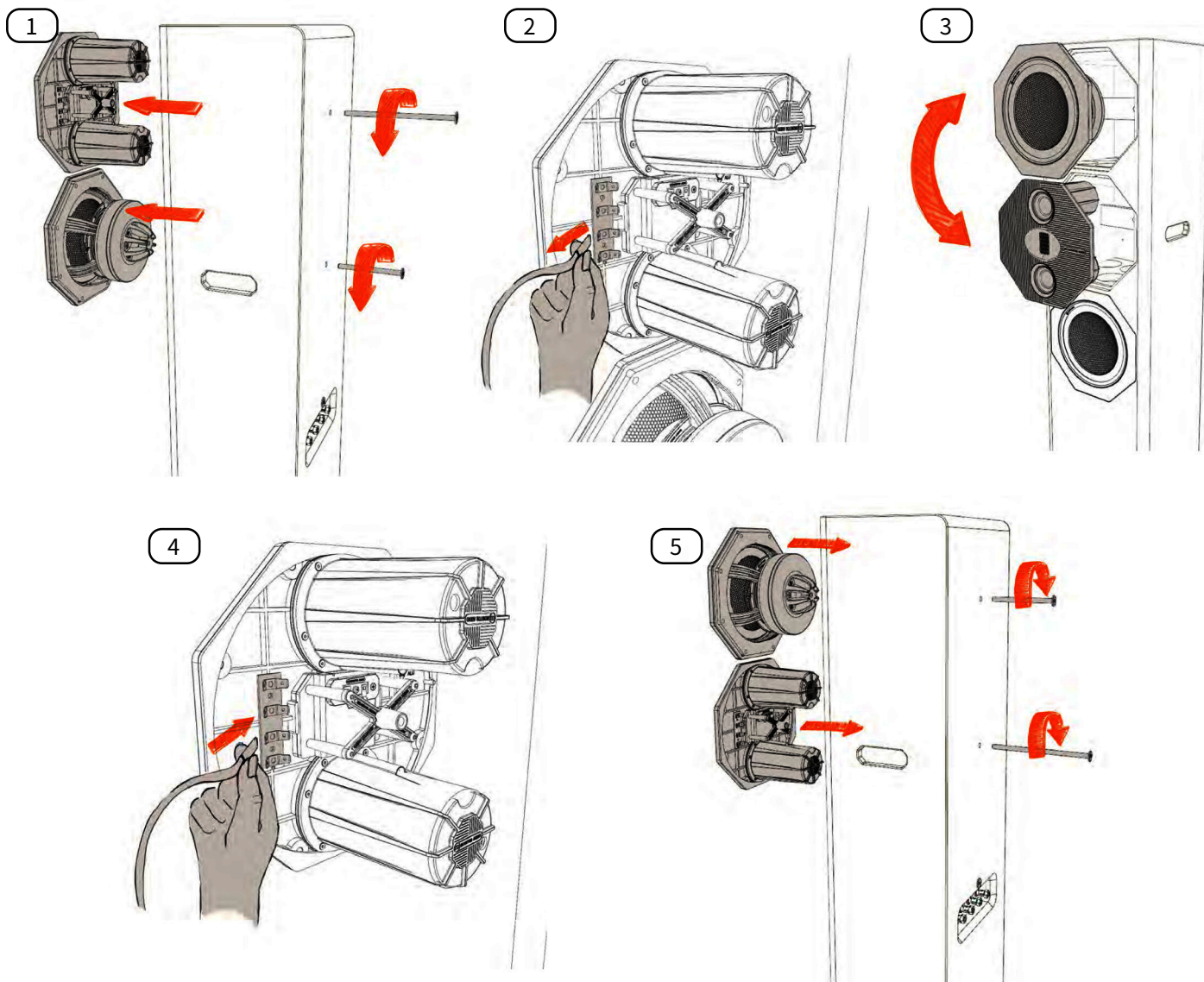


ミッド-ツイーターアレイの位置

Cinergy 300のみ

ミッド / ツイーターアレイの位置 (上下) を入れ替えることができます。そのためには、ミッド-ツイーターアレイの真後ろにあるボルトと、位置を入れ替えるウーハーの真後ろのボルトを取り外す必要があります。スピーカーケーブルをユニットから外し、新しい場所に差し替えます。

 **注意:** この作業は必ず設置前に実行してください。



音響の最適化

・アイソレーション

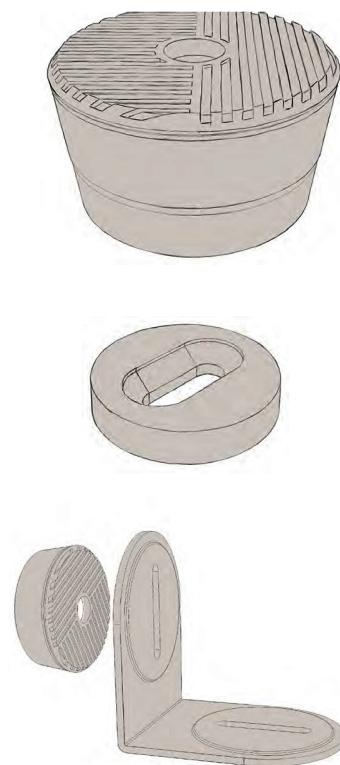
Cinergy では、振動を低減するために、特別に設計されたアイソレーターを用意しています。アイソレーション・フット [A] は、3層構造で効果的に振動を抑制します。

アイソレーション・フット [A] の底面の内側は、M10 ボルト (Cinergy 300 および Cinergy Sub15 用 [O], [P]) または同梱の大頭ネジ (Cinergy 100 および Cinergy 200 用 [B]) に適合するように設計されています。また、底面はアイソレーターロケーター [C] に位置決め (はめ込む) するための大きな円形の切り欠きがあります。

アイソレーターロケーター [C] は硬質シリコン製で床にネジ (別売) で固定し、アイソレーション・フット [A] を取り付けられた本体はネジを使用することなく、キャビネットを床に固定できるため、振動を最小限に抑えることができます。

詳しい説明は、「設置」項をご覧ください (P9「設置」)。また、用途に応じてキャビネットを壁に設置するための L 型ブラケット [E] と、アイソレーション・フット [A] の上部 2 層で構成される アイソレーター・ブラケット [D] が付属しています。アイソレーション・ワッシャー [G] を使用することで、ネジとブラケットをセパレート、共振振動を軽減し両サイドでスピーカーを固定します。

また、アイソレーション・パッド [H] が付属しており、お好みの場所に設置することができます。壁面に設置する場合はキャビネットの背面に、柱に挟んで設置する場合はキャビネットの側面に設置することができます。アイソレーション・パッド [H] は、サウンドウォール構成時にも有効です (P17「サウンドウォール」参照)



・ポート・スポンジ、EQプロファイル

付属の ポート・スポンジ [J] と、Monitor Audio のカスタムインストール・アンプ (2023 年度発売予定) に用意されている EQ プロファイルを使用して、様々なスピーカーに応じて音響の最適化を行うことができます。Monitor Audio のカスタムインストール・アンプ専用の EQ プロファイルは、Monitor Audio の Web ページの下記リンクからダウンロードすることができます (Monitor Audio のカスタムインストール・アンプシリーズの取扱説明書をご参照ください)。

■ Monitor Audio カスタムインストール・アンプシリーズ専用 / Speaker Library ファイル

※EQ プロファイル (拡張子 [zcl])

<https://brand.monitoraudio.group/share/Xm9aVeuFNUuYSz8XTWRM>)

以下はスピーカーのプロフィール例です。

・ Free standing (Cinergy 300 のみ)

スピーカーは壁から少し離れた場所に設置されている場合です。

・ In Wall, Solid Baffle (全モデル)

スピーカーは In-Wall で設置され、周囲の壁面は石膏ボードなどの硬い素材でできている場合です。

これにより、低音が大幅にブーストされます

・ In Wall, Transparent Baffle (全モデル)

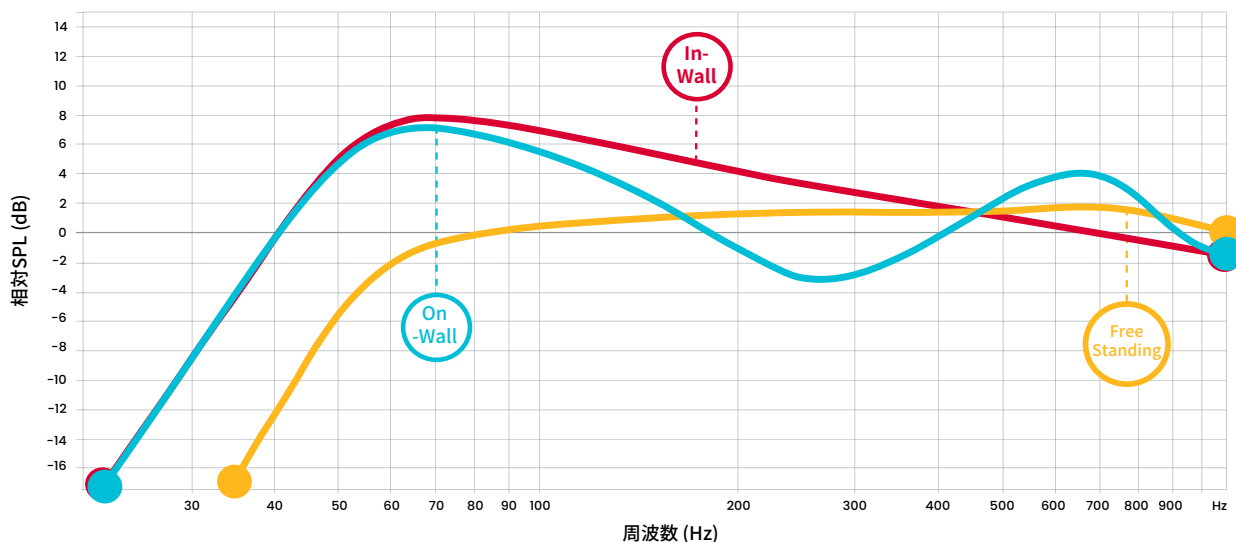
スピーカーは壁から少し離れた構造物に設置され、構造物には音響透過性のある素材が張られている場合です。

この状態は、音響的に Free Standing に近くなります。

・ On Wall (全モデル)

スピーカーは無垢の壁に On-Wall で設置された場合です。低音のブーストに加え、壁とスピーカー前面の間で反射が形成され、周波数特性にピークとディップが発生します。Cinergy 300 を壁際に配置した場合も同様です。

このグラフは、ポート・スポンジとEQプロフィールで補正された、異なる位置の音響効果を表しています。



	Free Standing & In Wall (Transparent Baffle)		In wall (Solid Baffle)		On wall	
	ポート栓	EQプロフィール	ポート栓	EQプロフィール	ポート栓	EQプロフィール
Cinergy 100	なし	なし	あり	なし	あり	Cinergy 100/ Cinergy 200 On-Wall
Cinergy 200	なし	なし	あり	なし	あり	Cinergy 100/ Cinergy 200 On-Wall
Cinergy 300 (MPT)	なし	なし	あり	Cinergy 300 In-wall	該当なし	該当なし
Cinergy 300 (MPM)	なし	なし	あり	Cinergy 300 In-wall MPM	該当なし	該当なし

※Cinergy 300 は **MPT (ミッド・ポッド・トップ)** 用にボイシング設計されています。ミッドポッドを中央に配置すると (MPM/ ミッド・ポッド・ミドル)、ミッドレンジとベースドライバーの相互作用が異なります。必須ではありませんが、Monitor Audio のカスタムインストール・アンプシリーズ (2023 年度発売予定) に用意されている EQ プロファイルは、最適化された EQ プロファイルにより、MPM 配置でも最適な EQ を提供します。

Cinergy Sub15 (サブウーハー)

Cinergy Sub15 は密閉型のため、正しく動作させるためには EQ ファイルが必要です。Cinergy Sub15 は、Monitor Audio のカスタムインストール・アンプ (2023 年度発売予定) に用意されている EQ プロファイルと最適に動作するようにチューニング、テスト、THX 認証されており、使用例やシステムの Cinergy Sub15 の数に応じて、EQ プロファイルが用意されています。



注意: Cinergy Sub15 が認定 THX 規格に適合するためには、Monitor Audio のカスタムインストール・アンプ (2023 年度発売予定) を使用する必要があります。

下の表は、スクリーンからの距離に対して推奨するサブウーハーの推奨及び最小台数を示しています。実際の距離が、推奨距離に近い場合、可能であれば多くのサブウーハーを追加することを推奨します。1 台のサブウーハーを限界まで負荷をかけると歪みが発生します。

より多くのサブウーハーを設置することで、システム全体の低音再生能力を向上させることができます。この表は、部屋の容積や全体の寸法がリスニング距離に対して適切であることが前提となっています。例えば、部屋が非常に広く、一部のスペースだけをサラウンド・システムとして使用している場合、システム部分だけでなく、部屋全体の空気 (空間) がより多いため、より多くのサブウーハーが必要になります。

MLP 距離 (m)	画面からの特定の MLP 距離に対する Cinergy Sub15 の台数		
	高 (109dB)	パフォーマンス (112dB)	基準 (115dB)
2.0	1	1	2
2.5	1	1	2
3.0	1	2	2
3.5	1	2	2
4.0	2	2	4
4.5	2	2	4
5.0	2	4	4
5.5	2	4	4
6.0	2	4	4
6.5	2	4	4
7.0	2	4	4

Cinergy Sub15 は THX ultra 認証を受けており、**1 台辺り最大 85 m³、最長 MLP 距離は 3.6m** が目安となります。ただし、最高のパフォーマンスのために、このチャートに従って、2 台以上のサブウーファを使用することをお勧めします。


Cinergy Sub15 の台数が多い場合は、ルームモードを打ち消すような配置にすることでよい結果が得られる場合があります。最も一般的な配置は、部屋の各壁の中央に Cinergy Sub15 を配置するもので、これには 4 台の Cinergy Sub15 が必要です。その結果、ほとんどのポジションでよりフラットな低周波レスポンスを実現しますが、その代わりに出力が約 6dB 減少します。この減少は複雑であり、部屋のモードの影響を受けなかった領域では MLP ほどの低音が得られない場合もあり、MLP においてもその部屋のモードの位置によっては 6dB 静かになる可能性があります。


設置

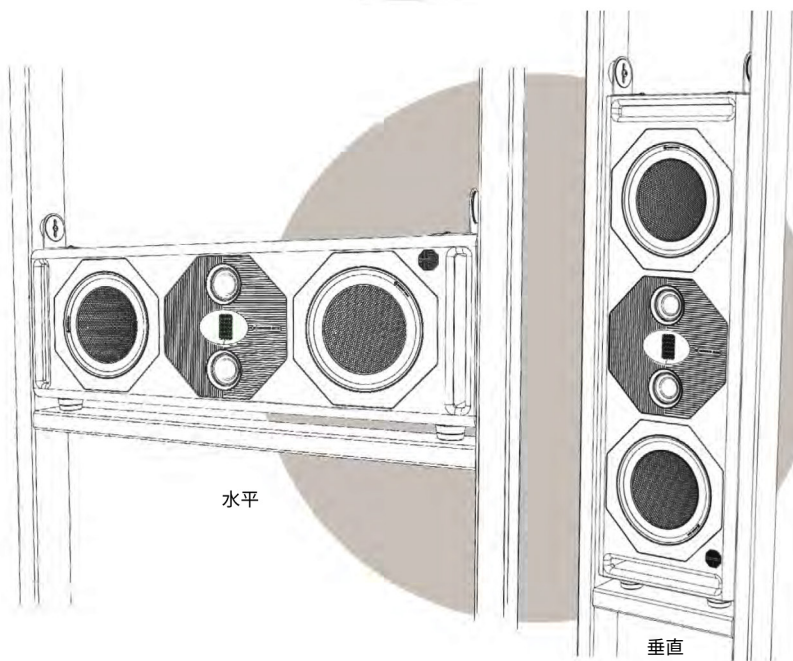
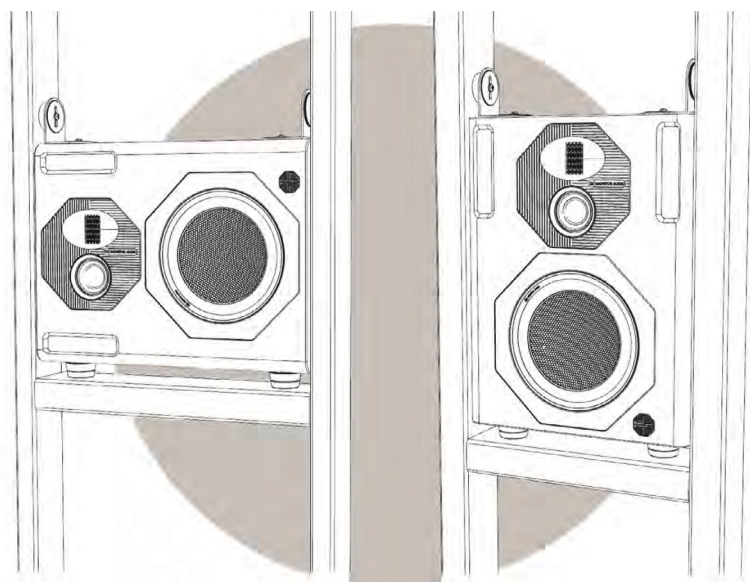
• Cinergy 100, Cinergy 200

Cinergy 100 と Cinergy 200 は、壁に直接取り付けられることも (On-wall)、フレームに挟んで壁に埋め込むこともできます (In-wall)。取り付けの際は、付属の取付テンプレートを 사용하여 ください。また、下図の通り、垂直または水平に取り付けることができます

① In-wall 設置

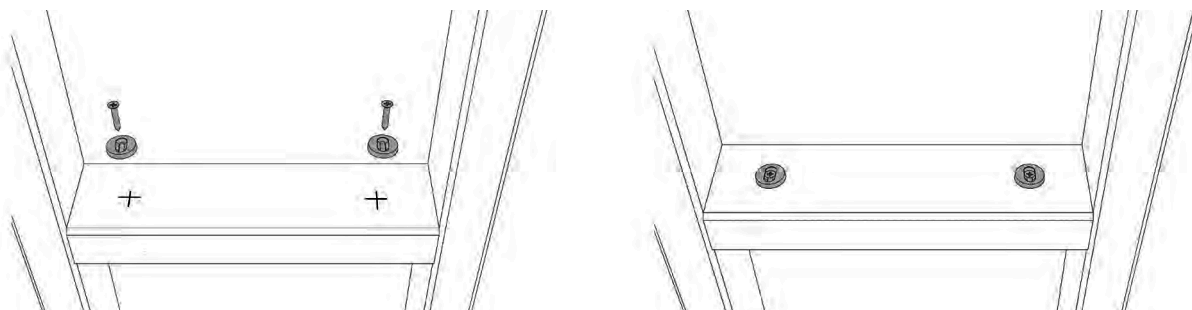
 **重要** - フレームに設置する場合、スピーカーを支持するため必ずスタッド間に水平ブレースを設けてその上に設置してください。水平ブレースが無いと落下の危険性があります。

 **重要** - もしスピーカーを水平に設置する場合、ミッド / ツイーターアレイは取り付けの前に回転させる必要があります。これは、ミッド / ツイーターアレイの背面のボルトを緩め、Cinergy 100 の場合は、時計回りに 90 度回転させてからボルトを締めます。Cinergy 200 および 300 の場合は、どちらの方向にでも 90 度回転することができます。また、バッジも正しい向きに回転させることができます。

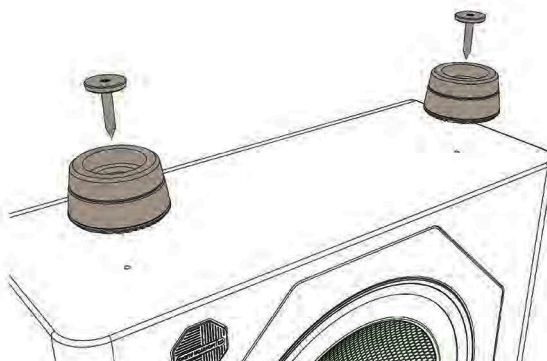


1. In-wallの取付テンプレートを使用して、ロケーター・バング[C]を固定する場所のネジ穴をマークして下さい。水平設置と垂直設置の両方に対応しており、グリルを使用するかどうかで固定箇所が異なります。詳細は取付テンプレートを参照してください。

2. ロケーター・バングを通常の木ネジ (付属していません) で固定します。No8 × 30 mm以上を推奨します。

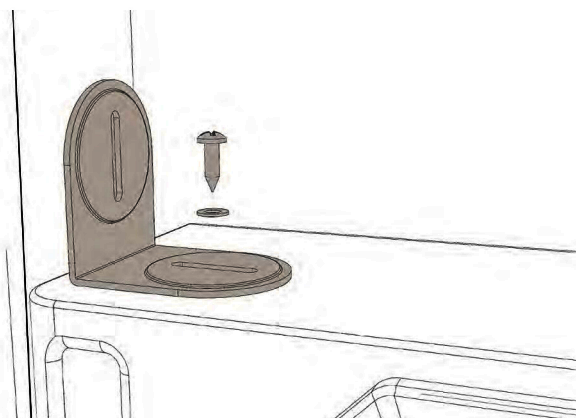


3. 付属の4.5 x 25 mm大頭ネジ[B]を使って、アイソレーション・フット[A]をキャビネットの下部に取り付けます。



4. サイドのスペースに余裕がある場合は、アイソレーション・パッド[H]をキャビネットの側面に設置することをお勧めします。ブレースと本体をアイソレーションします。

5. L字ブラケット[E]をNo12 (5.5mm) ×19mmネジ[F]とアイソレーション・ワッシャー[G]を使ってキャビネット上部に固定します。この時点ではまだ完全には締め付けしないでください。



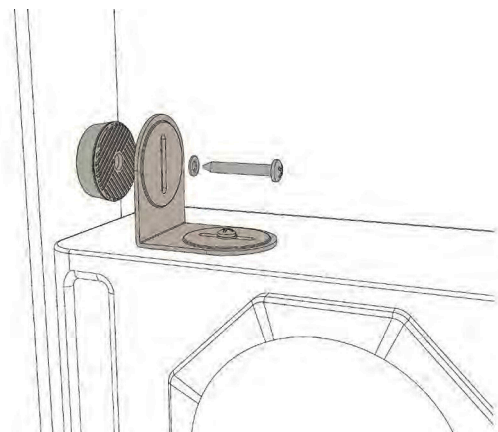
6. スピーカーケーブルを端子に接続します。



重要:バイワイヤリング/バイアンプの場合は、端子間のジャンパーピンを取り外してください。

7. ロケーター・バング[C]にスピーカーを配置します。

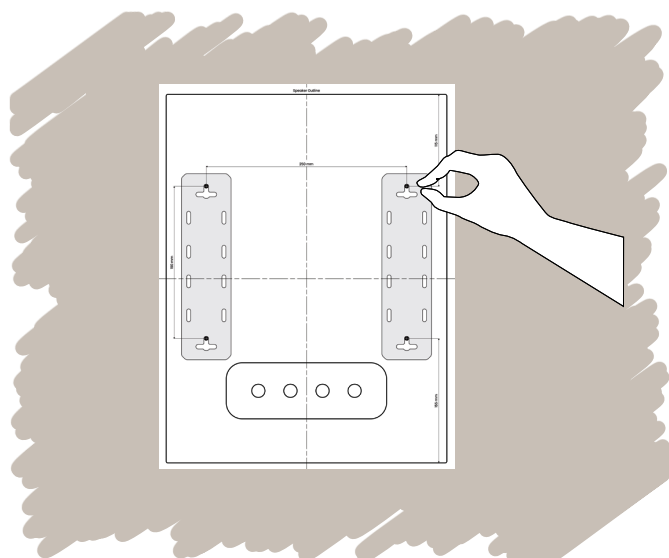
8. アイソレーター・ブラケット[D]を、L字ブラケット[E]とブレースの間に配置し、アイソレーション・ワッシャー[G]とネジ(付属していません。標準：最小No8 x 30 mmネジなどを使用)でネジ止めします。



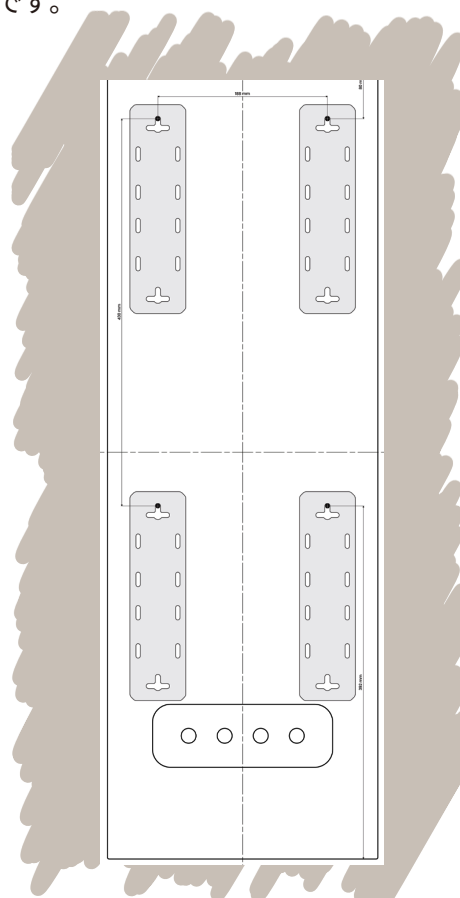
9. キャビネットに固定しているNo12 (5.5mm) ×19mmネジ[F]を締めて、スピーカーを固定します。

② On-wall設置

1. On-wallの取付テンプレートを使用して、壁面の固定箇所マークを付けます。水平方向でも垂直方向でも対応します。固定箇所は2箇所のみですが、4箇所使用することも可能です。

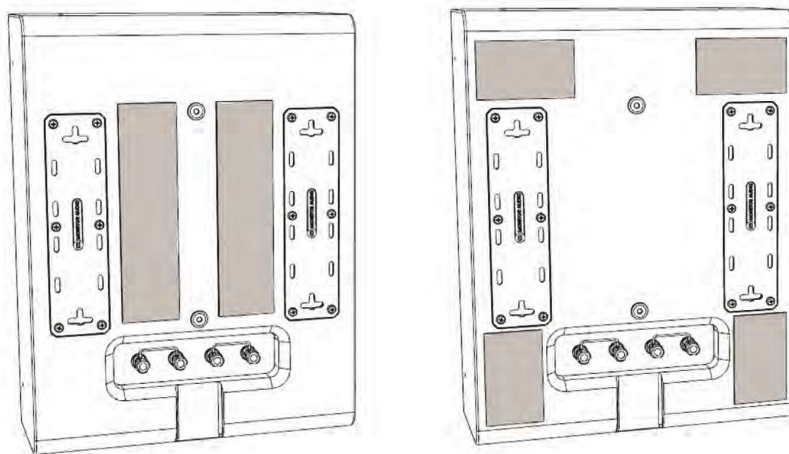


Cinergy 100



Cinergy 200

2. 壁の素材に応じて、適切な穴を開け、その穴にネジ頭が10 mm出るように、ネジ (付属していません。壁面素材に応じて適切なものをご用意ください) を付けます。
3. アイソレーション・パッド[H]をキャビネットの背面に装着してください (カットも可能です)。推奨位置の一例は下図の通りです。



4. スピーカーケーブルを端子に接続し、ピーカーをネジに引っ掛けます。



重要: バイワイヤリング/バイアンプの場合は、端子間のジャンパーピンを取り外してください。

ヒント

ケーブル配線とサイズ - スピーカーを壁に密着させる場合、ケーブルを通すためにキャビネットの背面には溝が切り取られています。溝は外径10 mmまでのケーブルに対応しています。


インピーダンス - スピーカーケーブルのインピーダンスは、スピーカーのDCR（純抵抗）の1/20以下にしてください。ケーブルの直流抵抗が大きくなると、バスドライバーの電気的なダンピングが減少し、低音が緩くなります。また、クロスオーバーにも影響を与え、パッシブフィルターネットワークの周波数とQ値を変更します。


石膏ボード/乾式壁 - 取り付け時は、L字型ブラケットがある領域を、スピーカーが修理が必要な場合にアクセスできるようにするため覆わないことをお勧めします。

• Cinergy 300

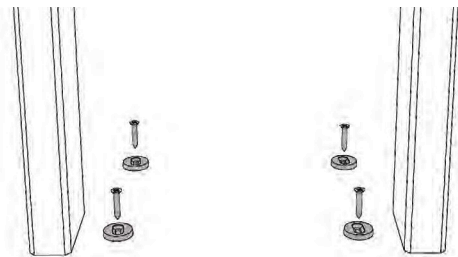
Cinergy 300は、In-wallもしくは付属の台座を使用してフロアスタンディング型として設置が可能です。また、In-wall設置の際は、Cinergy 100, 200と同様ブレースにL字ブラケット[E]で固定する必要があります。アイソレーション・フット[A]は、台座に取り付けても、キャビネットの下部に直接取り付けても使用できます。

① In-wall設置

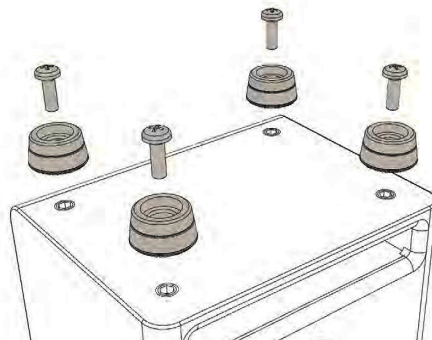
 **重要:**MLPの高さに応じて、ミッド - ツイーターアレイアセンブリと低音ユニットを交換することができます。設置前に行う必要があり、これを行うには、各ユニットの真後ろのボルトを外します。（P5参照）


 **注意:**アイソレーション・フット及びスパイク・フットを床の種類によって選択してください。スパイク・フットはキャビネットまたは、台座に直接取り付けすることができます。

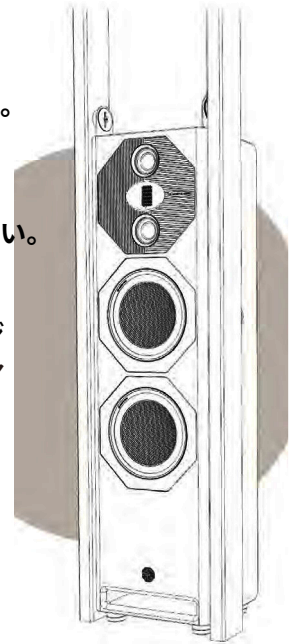
1. アイソレーション・フット[A]を使用する場合は、最初にロケーター・バング[C]を床にネジ止めすることをお勧めします。付属のテンプレートを使用して、固定する場所のネジ穴をマークして下さい。床の素材に応じた適切なネジ（付属しません）で固定します



2. アイソレーション・フット/本体間のネジ[P]で、アイソレーション・フット[A]をキャビネットの下部に取り付けます。



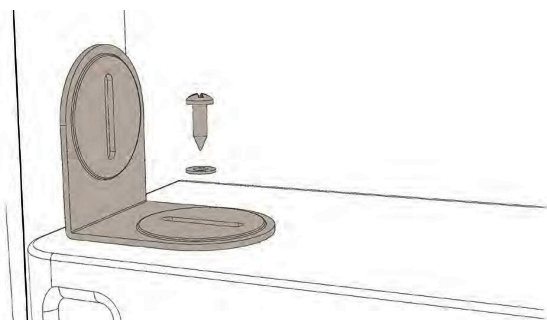
 **重要:**キャビネットをアイソレーション・フットで歩かせて移動させると、アイソレーション・フットが破損する恐れがあります。スピーカーは持ち上げて所定の位置に設置してください。また、スピーカーは重量があるため、2名で持ち上げることをお勧めします。



3. L字ブラケット[E]をNo12 (5.5mm) ×19mmネジ[F]とアイソレーション・ワッシャー[G]を使ってキャビネット上部に固定します。この時点ではまだ完全には締め付けしないでください。



注意:Cinergy 300には、パイロットホールがありません。ブラケットを固定する場所に、3mmのドリルビットで穴をあける必要があります。



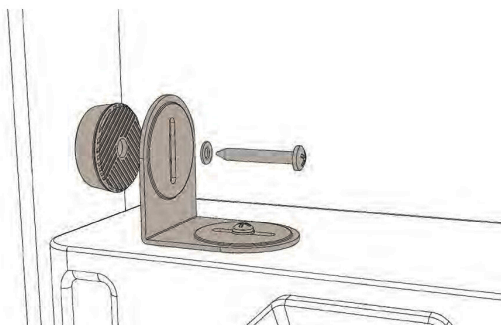
4. スピーカーケーブルを端子に接続します。



重要:バイワイヤリング/バイアンプの場合は、端子間のジャンパーピンを取り外してください。

5. ロケーター上でスピーカーの位置決めをします。

6. アイソレーター・ブラケット[D]を、L字ブラケット[E]とブレースの間に配置し、アイソレーション・ワッシャー[G]とネジ (付属していません。標準：最小No8 x 30 mmネジなどを使用) でネジ止めします。

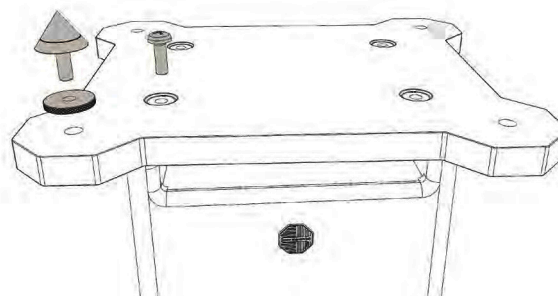


7. キャビネットに固定しているNo12 (5.5mm) ×19mmネジ[F]を締めて、スピーカーを固定します。

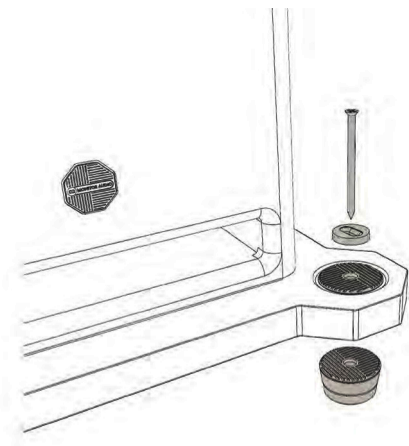
②Floor Standing 設置

台座[L]をキャビネットに装着してください。設置場所によってアイソレーション・フット[A]またはスパイク・フット[M]のどちらかを使用することができます。

台座は、付属のM10×40mmの本体/台座取り付けネジ[N]でキャビネットに、アイソレーション・フットは、M10×30 mmのアイソレーション・フット/台座間ネジ[O]で台座に固定します。



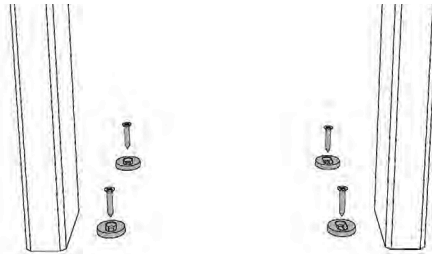
アイソレーション・フット[A]を使用する場合、Cinergy 300を床に台座ごと直接ねじ込むことができます。スピーカーを必要な場所に設置し、長セルフタッピングネジ (付属しません) を使用します。台座とアイソレーション・フットを貫通させて床にねじ込みます。



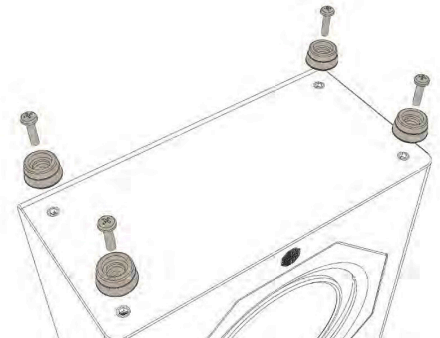
• Cinergy Sub15

Cinergy Sub15は、アイソレーション・フットとロケーター・バングを使用して設置します。

1. 取付テンプレートを使用して、ロケーター・バング[C]を固定する場所のネジ穴をマークして下さい。詳細は取付テンプレートを参照してください。マークしたところにロケーター・バングをネジ (付属していません) で固定します。床の素材に応じて適切なものをお選びください



2. 付属のアイソレーション・フット/本体間ネジ[P]を使って、アイソレーション・フット[A]をキャビネットの下部に取り付けます。



3. L字ブラケット[E]をNo12 (5.5mm) ×19mmネジ[F]とアイソレーション・ワッシャー[G]を使ってキャビネット上部に固定します。この時点ではまだ完全には締め付けしないでください。

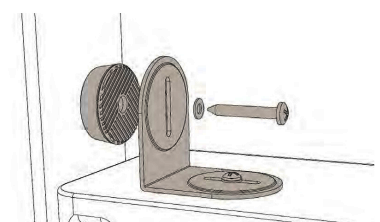


! 注意:Cinergy 300には、パイロットホールがありません。ブラケットを固定する場所に、3mmのドリルビットで穴をあける必要があります。

4. スピーカーケーブルを端子に接続します。
5. ロケーター上でスピーカーの位置決めをします。

! 重要:キャビネットをアイソレーション・フットで歩かせて移動させると、アイソレーション・フットが破損する恐れがあります。スピーカーは持ち上げて所定の位置に設置してください。

6. アイソレーター・ブラケット[D]を、L字ブラケット[E]とブレースの間に配置し、アイソレーション・ワッシャー[G]とネジ (付属していません。標準：最小No8 x 30 mmネジなどを使用) でネジ止めします。



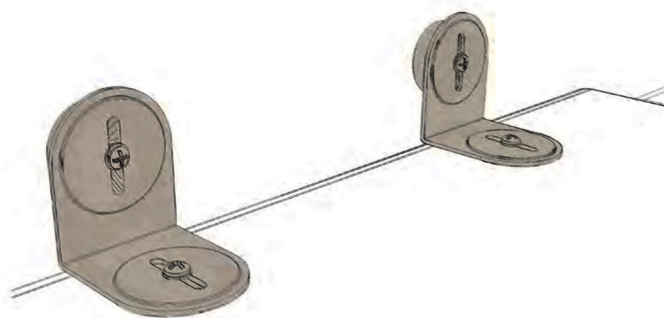
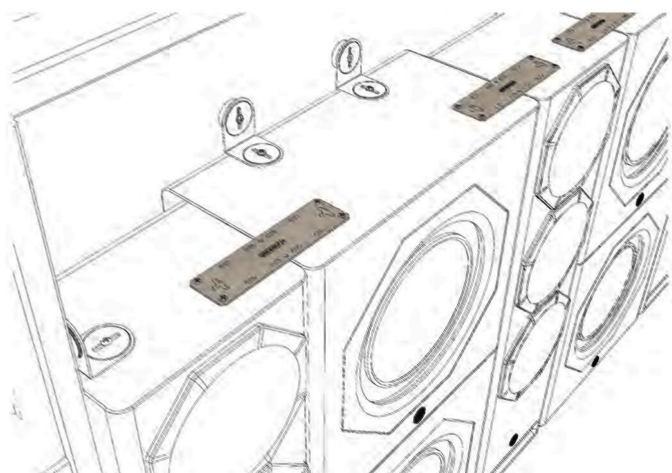
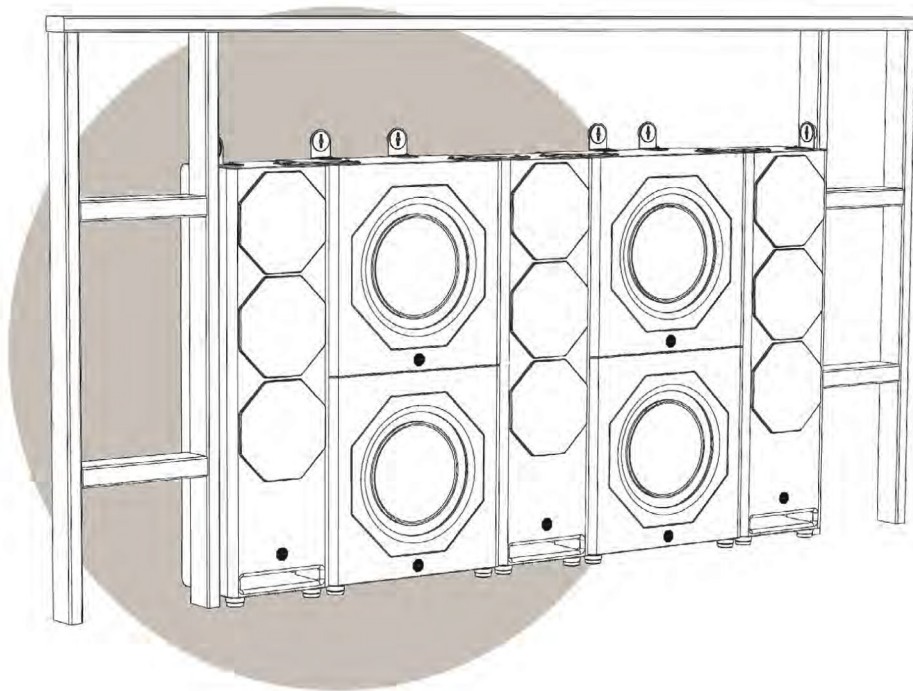
7. キャビネットに固定しているNo12 (5.5mm) ×19mmネジ[F]を締めて、スピーカーを固定します。

サウンドウォール

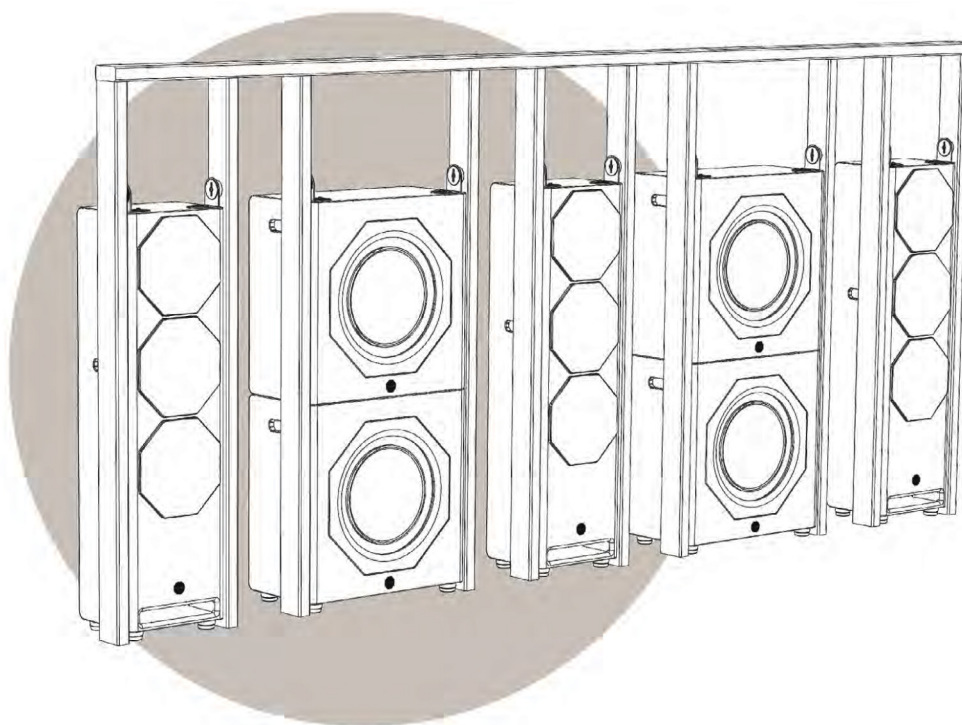
Cinergy 300 と Cinergy Sub15 を組み合わせて、「サウンドウォール」を作ることができます。

下図は一例ですが、左 / 中央 / 右に Cinergy 300 を 3 台、Cinergy Sub15 を 4 台使用します。Cinergy 300 と Cinergy Sub15 を隣り合わせに配置する場合は、付属のフラットブラケット [I] で連結してください。全てのスピーカーにアイソレーション・フットを使用して、フレームの中に設置した場合、Cinergy 300 と Cinergy Sub15×2 の高さが同じになります。

また、Cinergy 300, Cinergy Sub15 共に L 字ブラケットを使用して、フレームに固定する必要があります。



下図の様にフレームに間にスペースを設けて設置する場合も、Cinergy 300, Cinergy Sub15共にL字ブラケットを使用して、フレームに固定する必要があります。



サードパーティアンプEQプロフィール

以下は、サードパーティ製アンプを使用した場合に、Cinergyシリーズのイコライジング方法に関するガイダンス表です。

Cinergy 100 On-Wall EQ

中心周波数	Q	ゲイン (dB)
260 Hz	2.5	3
600 Hz	2	-2.5
900 Hz	3	2
1330 Hz	4	-4

Cinergy 200 On-Wall EQ

中心周波数	Q	ゲイン (dB)
300 Hz	1.5	4
600 Hz	2	-1

Cinergy 300 In-Wall (MPT) EQ

中心周波数	Q	ゲイン (dB)
150 Hz	0.8	-2.5
740 Hz	1.2	1.5
1800 Hz	2	-0.5

Cinergy 300 In (MPM) EQ

中心周波数	Q	ゲイン (dB)
190 Hz	1.8	-3
800 Hz	1.2	3

Specifications

	Cinergy 100	Cinergy 200	Cinergy 300	Cinergy Sub15
THX® 認証	THX® Certified Ultra	THX® Certified Ultra	THX® Certified Ultra	THX® Certified Ultra (with Sub15 ×2)※
形式	3-way・バスレフ型	3-way・バスレフ型	3-way・バスレフ型	密閉型・パッシブ
能率 (2.83v@1m)	89 dB	90dB	90dB	86 dB @ 100Hz
Maximum Linear SPL (@1m, free space)	Continuous 103 dB, Peak 116 dB	Continuous 109 dB, Peak 122 dB	Continuous 109 dB, Peak 122 dB	Continuous 109 dB, Peak 120 dB
Power Handling	Continuous 200W, Peak 800W	Continuous 350W, Peak 1400W	Continuous 350W, Peak 1400W	Continuous 600W, Peak 1500W
インピーダンス	4Ω	4Ω	4Ω	4Ω
Recommended Low Frequency (Crossover Frequency)	80-100Hz (High Pass)	80-100Hz (High Pass)	40-100Hz (High Pass)	40-100Hz (Low Pass)
推奨アンプ出力	100-800W	100-1400W	100-1400W	100-1500W
Port Tuning Frequency	67Hz	47Hz	38Hz	—
LF Extension In Wall with port bungs (-6dB)	48Hz	47Hz	42Hz	—
LF Extension in free space without port bungs (-6dB)	65Hz	47Hz	42Hz	17Hz ※
ユニット	MPD トランスデューサー x1 64mm RDT II Mid ドライバー x1 200mm RDT II Bass ドライバー x1	MPD トランスデューサー x1 64mm RDT II Mid ドライバー x2 200mm RDT II Bass ドライバー x2	MPD トランスデューサー x1 64mm RDT II Mid ドライバー x2 200mm RDT II Bass ドライバー x2	380mm Ultra High Excursion C-CAM Subwoofer ドライバー x1
サイズ (キャビネット・サイズ / W×H×D)	350 x 460 x 160 mm	300 x 904 x 160 mm	300 x 1080 x 240 mm	540 x 540 x 280 mm
(グリル・ターミナル含む / W×H×D)	350 x 460 x 174.1 mm	300 x 904 x 173.6 mm	300 x 1080 x 253.6 mm	—
(スパイク or フット含む / W×H×D)	—	—	438 x 1132 x 378 mm	540 x 567 x 280 mm
重量	18.4kg	30.0kg	40.4kg	38.5kg
仕上げ	硬質ブラック・ポリウレタン・フィニッシュ			
インストール方法	In-Wall / On-Wall (背面金具) ※脚部 × 2 付属	In-Wall / On-Wall (背面金具) ※脚部 × 2 付属	Floorstanding (4脚スパイク or 脚部) / In-Wall	Floorstanding (4脚 脚部) / In-Wall
備考	バイワイヤ対応スピーカーターミナル (裸線対応 / ハナ・Yラグ 非対応)	バイワイヤ対応スピーカーターミナル (裸線対応 / ハナ・Yラグ 非対応)	バイワイヤ対応スピーカーターミナル (裸線対応 / ハナ・Yラグ 非対応)	シングルワイヤ対応スピーカーターミナル (裸線対応 / ハナ・Yラグ 非対応)

※Cinergy Sub15 用 カスタムインストール・パワーアンプ使用時 (2023 年度発売予定)

Monitor Audio は、常により洗練されたデザイン・設計を目指し、製品の改善に努めています。
そのためデザイン、性能等、事前の予告なしに変更される場合がございます。
また本製品の輸送に必要な購入時の箱・緩衝材は、必ず保管しておいてください。

保証

本機の保証は株式会社ナスペックが行います。
詳しくは株式会社ナスペックのHP/サポートページ (<http://naspecaudio.com/support/>) をご確認ください。
修理の際は、販売店または株式会社ナスペックにお問合せください。

※修理についてのご質問・送り先は、下記 本社/サービスセンターにてお受け致しております。
詳しいお問い合わせは **Monitor Audio** 日本輸入総代理店 株式会社ナスペックまで

NASPEC
CORPORATION

株式会社ナスペック
〒500-8386 岐阜県岐阜市藪田西 1-4-5
HP: <http://naspecaudio.com>

TEL: 058-215-7510
FAX: 058-268-7118
: 0120-932-455
e-mail: support@naspecaudio.com